

第 37 回土木計画学研究発表会(春大会) : 2008.6.6~7(北海道大学)
 企画論文部門, 若手研究者論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名 : 超長期的マクロ経済の視点からのインフラ政策	
日付 : 6月 7日 (土)曜日, セッション時間 : 8:45~10:15	
オーガナイザー・司会者名 : 上田孝行 (東京大学)	
討 議 内 容	セッション全体 : ・インフラの維持管理, 更新, 長寿命化やアセットマネジメントを経済モデルで表現する方法は無い いか? ・長期モデルの社会資本ストックは G という 1 変数で扱われることが多いが, 土木計画では交通 モデル分野の成果も多いので, 交通サービスレベルと生産性の関連を考えるとより良い方向があり 得るのではないか.
	(171) 上田孝行 (東京大学) ・建設産業の技術進歩は, 建設産業の生産よりも, 他産業の投資に影響するのではないか.
	(172) 石倉智樹 (国土技術政策総合研究所) ・実証に適用できるようにモデルをシンプルにできないか.
	(173) 佐藤徹治 (千葉工業大学) ・持続可能開発という観点では, 経済だけではなく社会・環境・技術に注目されている. 経済の最 適化だけではない厚生を考えるべきではないか?
	(174) 八木 亮輔 (東北大学) ・内生的成長モデルでは, 最適経路上で公共投資のクラウドディングアウト効果を意味する結論にな りやすい. その原因を考えることが重要である.